

2018年8月10日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

## 日本プロロジスリート投資法人のグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、日本プロロジスリート投資法人が発行するグリーンボンド<sup>(1)</sup>（10年債60億円）の引受けにおいて事務主幹事およびGreen Bond Structuring Agent<sup>(2)</sup>を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

日本プロロジスリート投資法人が属するプロロジス・グループは良き企業市民として、「環境への取り組み（Environmental Stewardship）」、「社会貢献と企業としての責任（Social Responsibility）」、「企業倫理とガバナンス（Ethics and Governance）」を3本の柱として、社会のサステナビリティに配慮した企業活動を行っています。

今般発行するグリーンボンドにより調達された資金は、プロロジスパーク習志野5、プロロジスパーク茨木、及びプロロジスパーク古河2の取得資金の借換えに充当される予定です。

なお、プロロジスパーク習志野5はCASBEE建築評価認証においてAランク及び建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価において最上位となる5つ星を取得、プロロジスパーク茨木は、CASBEE建築評価認証において最上位となるSランク及び建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価における5つ星を取得、プロロジスパーク古河2は、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価における5つ星を取得しており、いずれもグリーンプロジェクトに該当いたします。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG<sup>(3)</sup>投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境と

の両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

債	券	名	：日本プロロジスリート投資法人第7回無担保投資法人債 (特定投資法人債間限定同順位特約付) (日本プロロジスリート・グリーンボンド)
取	得	格	付：AA (JCR)
年		限	：10年 (2028年8月17日償還)
発	行	額	：60億円
利		率	：0.660% /年
払	込	期	日：2018年8月17日
主	幹	事	：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、みずほ証券株式会社

Green Bond Structuring Agent：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。プロロジス・グループのグリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者機関による評価を取得している (第三者機関 : Sustainalytics)。
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。
- (3) 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。

以上